



2017年7月24日

SUPER GT 第4戦、2台のAudi R8 LMSが大混戦をくぐり抜け完走

- ・ Audi Team Hitotsuyama は、不運なトラブルに見舞われ 20 位に
- ・ Team TAISAN SARD は予選 19 位から我慢のレースで、18 位で完走を遂げる

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。7月22日（土）、7月23日（日）、スポーツランド菅生（宮城県 1周3,704m）で2017 AUTOBACS SUPER GT 第4戦となる「SUGO GT 300km Race」が開催されました。

今大会にも新型 Audi R8 LMS を擁する#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の2チームが参戦。雨の予報もある一方で、公式練習は気温 30℃を超える猛暑、公式予選は雨がわずかに降り出すもドライコンディションのまま進みました。そして決勝は雨と、チームもタイヤの選択に頭を悩ませる難しい状況の中、東北での SUPER GT の開催を待ちわびた多くのファンが訪れました。

予選では Audi Team Hitotsuyama のリチャード ライアン選手がさすがの走りで見事に Q1 を突破。しかし、Q2 ではマシントラブルが発生し、柳田 真孝選手はタイム計測できず予選 13 位となりました。

決勝レースはドライかレインか、タイヤの選択が非常に難しいスタートとなりました。レインタイヤを選択した Audi Team Hitotsuyama は第1スティントを柳田選手に託しました。レーススタート後、すぐにセーフティカーが入るなど荒れた展開となりましたが、ベテランらしく落ち着いたペースで周回を重ねていたところ、不運にも接触アクシデントが発生。その後のリチャード選手のスティントでは右の後輪が外れるというトラブルが発生。3輪走行でピットまで戻ったものの、運悪くセーフティカー走行中のピットインでペナルティの対象となり、大きく順位を下げてしまいました。しかしリチャード選手は、最後まで諦めることなく上位を上回るタイムを連発し 20 位でレースを終えました。

Audi R8 LMS で2年目の参戦となる Team TAISAN SARD は、今シーズンより昨年の GT500 クラスのチャンピオンチームである SARD の野田 英樹監督をチームへ招聘。さらにドライバーラインナップも山田 真之亮選手とジェイク パーソン選手という共に 20 代の若手コンビでの挑戦となります。決勝は第1スティントを山田選手が担当。他のチームがレインタイヤを選択する中、あえてスリックタイヤで勝負に出ました。しかし、路面が乾くまでに思いの外時間がかかり、チームは苦戦を強いられました。他のチームはコースアウトするなど、厳しいコンディションの中を無事に走りきった山田選手から第2スティントは、ジェイク選手へとバトンタッチします。後半は路面コンディションも改善し、順調にラップを重ねていきます。時に上位チームに匹敵するタイムを刻み 18 位で完走を果たしました。

Audi Team Hitotsuyama :

一ツ山 亮次チーム代表のコメント

「今日は決勝スタート前から路面が濡れており、判断に迷いましたがリスクをおかさずレインタイヤを選択し、順調にラップを重ねていました。ところが接触でこのレースは流れが大きくかわってしまいました。リチャード選手のリアタイヤが外れてしまった件も、接触の影響によるものなのか、現在原因を究明しています。テストも順調でしたし、菅生でいいところを見せたかったのですがとても残念です。しかし、競合に打ち勝つだけのマシンのパフォーマンスがあることはわかりましたので、まずは次戦の富士でポイントをとりにいきたいと思っています」

リチャード ライアン選手のコメント

「この結果は本当に残念です。チャンスにホイールが外れてしまい、勝機を失ってしまいました。ただし、Audi R8 LMS には、ドライでもウェットでも速く走れるパフォーマンスがあります。私自身にできることは、すべてのラップ、すべてのコーナーを全力でアタックするだけです。チームもわれわれもモチベーションは落ちていないので、プッシュしつづけていきます。数日後にはWRT とスパ24 時間レースに参加するので、そこでいい結果を出して、その勢いそのまま富士に臨みたいと思っています」

柳田 真孝選手のコメント

「ウェットタイヤでのスタートで、直後は自分が思っているほどはペースがあがりませんでした。しかし忍耐強く、いいリズムで走ることができました。路面が乾きだしタイムも良くなってきたところで追突されて、その上ペナルティを課せられてしまいました。4 戦連続でポイントを取れていないのはとてもつらいです。ただし、Audi R8 LMS のポテンシャルの高さはウェットでもドライでも確認できましたし、あきらめることなく、チーム全体でさまざまな点を見直して後半戦も頑張っていきます」

Team TAISAN SARD :

野田 英樹チーム監督のコメント

「車両のバランスが良くなってきており、練習走行では5 番手のタイムを記録しました。予選はさらに上位を目指して攻めたのですが、タイヤの良い所を活かしきれず非常に悔しい結果となりました。決勝当日はとて不安定な天候で、スタート直前で雨が降り出しましたが、30 分ほどで止むと想定し、我々はドライタイヤをチョイスしました。スタート後、暫くは我慢の走行でしたが次第に路面が乾き始め、これから挽回という時に更に雨が落ち始めました。今回は積極的に攻める作戦を取りましたが、結果としては裏目に出てしまいました。ただし、このレースでマシンの良いセットアップが見つかった事により、チームのモチベーションも上がっております。次戦に向けて、自信を持って挑みたいと思います」

山田 真之亮選手のコメント

「練習走行ではすごくいいタイムで走行できていたのですが、そのフィーリングで挑んだ予選はうまく噛み合わず残念な結果となりました。決勝はスリックタイヤでスタートとして我慢のレースでしたが、他のスリックを履いたマシンを追抜き、さらにいいペースで走ることができたのは、自分にとっても自信につながりました。今日の難しい状況は、これからの富士や鈴鹿1000km レースを見越したときのいいテストにもなったと思います。流れは決して悪くないので次もしっかり走り切りたいと思います」

ジェイク パーソン選手のコメント

「タイヤの選択がとても重要なレースでした。とても難しいコンディションでしたが、ポジティブにとらえれば、ドライもそしてこうしたウェットコンディションを経験できることは、チームとしてはデータを取得できますし、自分自身のドライビングスキルの向上にも役に立つと感じています。富士はこれまでにも何度か走行した経験があるので、いいポジションからスタートできるようがんばります」

SUPER GT 第5 戦は8 月5 日（土）～6 日（日）、静岡県の富士スピードウェイにて開催予定です。

アウディは、「Audi Sport（アウディ スポーツ）」の主導のもと、2016/2017 シーズンから、電気自動車による FIA フォーミュラE レーシング シリーズに本格参戦しています。また Audi RS 5 DTM で DTM（ドイツツーリングカー選手権）に参戦。さらに、カスタマーモータースポーツとしては GT3 レースカー Audi R8 LMS や Audi RS3 LMS を世界中のプライベートチームに供給するなど、モータースポーツ活動全般を支援しています。現在、Audi Sport を、アウディのスポーティなブランドイメージをより一層強調するサブブランドとしてグローバルで展開しており、日本国内でもコミュニケーション拠点 Audi Sport 店を全国 26 店舗オープンしています。